

# 令和元年度アレルギー疾患医療全国拠点病院連絡会議 免疫アレルギー疾患研究10か年戦略について

「見える化」による安心社会の醸成



東京慈恵会医科大学  
総合医科学研究センター  
分子遺伝学研究部

玉利真由美

2019.12.15  
パシフィコ横浜  
会議センター  
501.502会議室

# 厚生労働科学研究費 厚生労働特別研究事業

アレルギー疾患対策に関する研究基盤の構築

2017.8.1～

平成26年にアレルギー疾患対策基本法が成立

令和元年度からアレルギー疾患10ヶ年戦略を策定するため、アレルギー疾患の有意義な研究を推進するための基盤形成

→研究戦略を適切に立てるための提言書の作成

## 7つの学会と連携

日本アレルギー学会

日本小児アレルギー学会

日本皮膚科学会/日本研究皮膚科学会

日本眼科学会

日本呼吸器学会

日本耳鼻咽喉科学会

日本免疫学会

## 対象疾患

法律では6疾患(気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、花粉症、食物アレルギー、アレルギー性結膜炎)を対象としているが、研究戦略では6疾患に加え、その他の疾患を広く対象とする

各学会より  
研究協力者を推薦

原則として55歳程度の教授クラス、  
45歳程度の若手クラスの2名の研究者

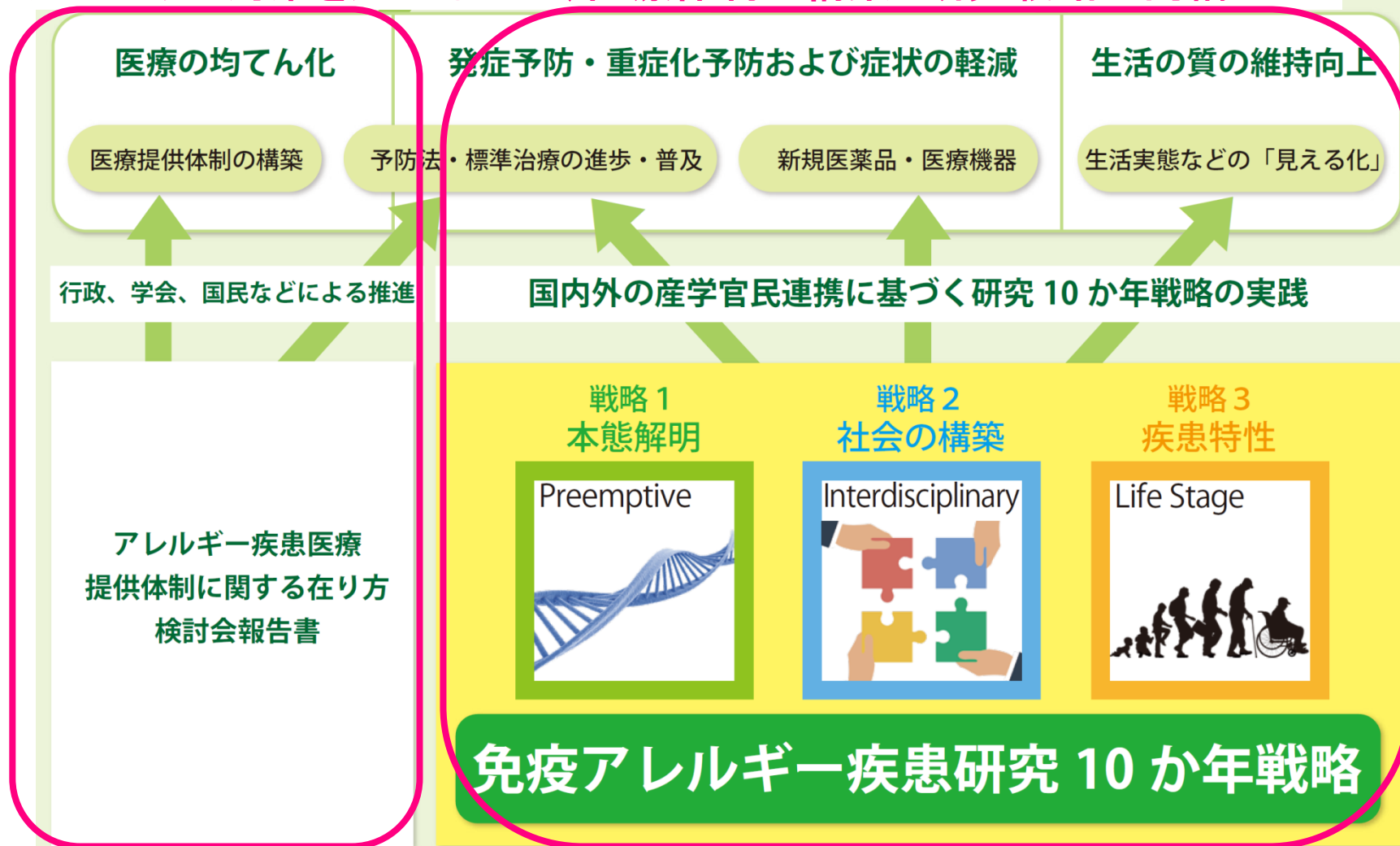
## 研究計画

- 1)アレルギー疾患研究における課題の抽出
- 2)課題についての現状把握と分析検討
- 3)それらを基盤とした今後に向けての展開

# アレルギー対策における10か年戦略の位置づけ

免疫アレルギー疾患に対して、安心して生活できる社会の構築

国のアレルギー対策を進める上で、医療体制の構築と研究戦略が両輪



## 戦略1 本態解明



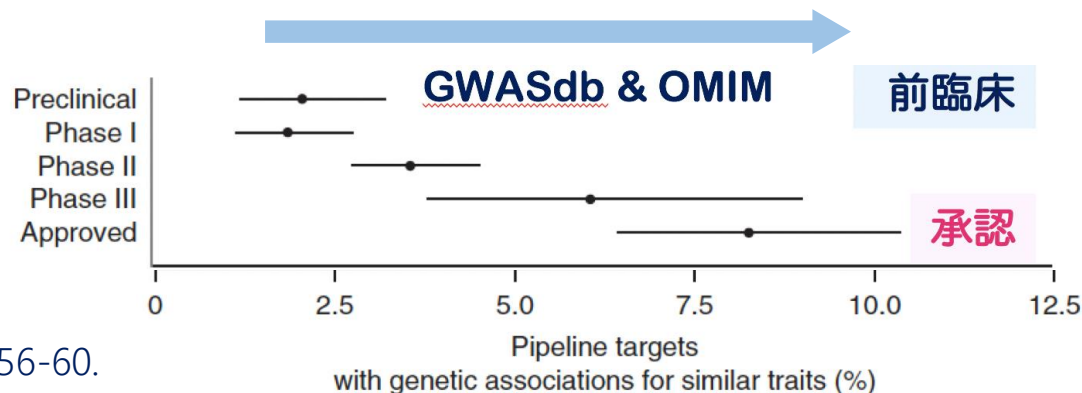
# 創薬や予防・先制・最適医療に重要な研究を

開発が進むにつれ遺伝的なエビデンスが増加

## 戦略3 疾患特性



創薬



Nelson MR, et al.  
Nat Genet 2015;47:856-60.

## GWASを活用したポリジェニックリスクスコア

数十万人のゲノムデータと共に膨大な量の健康情報を収集

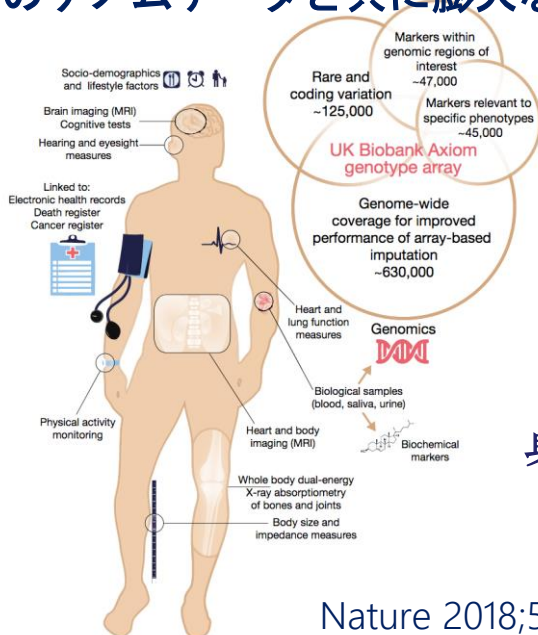
予防・先制・最適医療

脳MRI  
眼科耳鼻  
科情報

ウェアラブル  
デバイス

運動情報

心臓&身体  
イメージング



社会生活  
ライフスタイル

心肺機能  
血液、唾液、尿検査

身体計測情報

The UK biobank  
(英国)

All of US (アメリカ)  
<https://allofus.nih.gov>

Nature 2018;562:203-209.

# 免疫アレルギー疾患研究10か年戦略の各論と関連性

## 戦略1 本態解明



1: 免疫アレルギー疾患の  
多様性の理解と層別化に資する基盤研究

3: 免疫アレルギー疾患における  
宿主因子と外的因子の関係  
に着目した基盤研究

2: 将来の予防的・先制的医療の実用化  
を目指す研究開発

4: 臓器連関・異分野融合に関する  
免疫アレルギー研究開発

## 戦略2 社会の構築



1: 患者・市民参画による双方向性の  
免疫アレルギー研究の推進に関する研究

3: 免疫アレルギー研究に係る  
臨床研究基盤構築に関する開発研究

2: 免疫アレルギー研究における  
アンメットメディカルニーズ等の調  
査研究開発

4: 免疫アレルギー研究における  
国際連携, 人材育成  
に関する基盤構築研究

## 戦略3 疾患特性



1: 母子関連を含めた小児および移行期  
の免疫アレルギー疾患研究

3: 重症・難治性・治療抵抗性の  
免疫アレルギー疾患研究開発

2: 高齢者を含めた成人発症  
免疫アレルギー疾患研究

4: 希少疾患と関連する  
免疫アレルギー疾患研究

# 中心拠点病院ネットワークの活用



## 2-3

### 免疫アレルギー研究に係る 臨床研究基盤構築に関する開発研究

臨床研究中核病院



- 日本初の革新的医薬品・医療機器の開発などに必要となる質の高い臨床研究を推進するため、国際水準の臨床研究や医師主導治験の中心的役割を担う
- 他の医療機関が実施する臨床研究に対し必要なサポートを行うことができることが1つの基準
- 次世代のより良質な医療の提供への貢献が期待されている



## 2-4

### 免疫アレルギー研究における 国際連携、人材育成に関する基盤構築研究



- 本領域に関心を持つ人材の育成が可能な国内の施設を構築
- 国際的な人材育成、国際連携研究推進の支援
- 国内留学、国際的人材交流の推進

臨床研究を大規模に推進するには  
この拠点病院連絡会議のネットワークを活かすことが重要



# ご協力をいただいた学会、メンバー

## 協力いただいた学会

日本アレルギー学会  
日本小児アレルギー学会  
日本呼吸器学会  
日本皮膚科学会  
日本耳鼻咽喉科学会  
日本眼科学会  
日本免疫学会

## 特別研究班

浅野浩一郎  
足立剛也  
天谷雅行  
石井健  
伊藤浩明  
内尾栄一  
海老澤元宏  
岡野光博  
椛島健治  
近藤健二

今野哲  
佐伯秀久  
玉利真由美  
長尾みづほ  
檜澤伸之  
藤枝重治  
福島敦樹  
松本健治  
森田英明  
山本一彦

## 研究戦略検討会委員

足立剛也  
天谷雅行  
新井洋由  
海老澤元宏  
園部まり子  
玉利真由美  
藤枝重治  
松本健治  
吉本明美

# ぜひご一読ください

## 厚生労働省発出の原文

「免疫アレルギー疾患研究 10 か年戦略」について

「アレルギー疾患対策基本法」(平成 26 年法律第 98 号。以下「法」という。)第 11 条第 1 項に基づく「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針」(平成 29 年厚生労働省告示第 76 号。以下「基本指針」という。)においては、医療の質の均てん化に向けた医療提供体制の整備に関する取り組みに加え、アレルギー疾患に関する調査及び研究に関する事項を明記しており、今後の取り組みの方針として、基本指針第四(1)において、『諸問題の解決に向け、疫学研究、基礎研究、治療開発(橋渡し研究の活性化を含む。)及び臨床研究の長期的かつ戦略的な推進が必要である。』と謳われており、平成 30 年 7 月より、「免疫アレルギー疾患研究戦略検討会」を開催し、免疫アレルギー疾患研究 10 か年戦略について 3 回にわたり検討を重ねた。

当検討会では、「免疫アレルギー疾患領域における研究の現状を正確に把握し、疫学調査、基礎病態解明、治療開発、臨床研究等を長期的かつ戦略的に推進すること」を目的として、「先制的医療等を目指す免疫アレルギーの本態解明に関する基盤研究」、「免疫アレルギー研究の効果的な推進と社会の構築に関する横断研究」、「ライフステージ等免疫アレルギー疾患の特性に注目した重点研究」の 3 つの戦略に整理し、報告書として取りまとめた。

本報告書を踏まえ、平成 31 年度からの 10 か年の免疫アレルギー疾患研究戦略について、別紙のとおり「免疫アレルギー疾患研究 10 か年戦略」を定めた。本戦略の目指すべきビジョンとして、「産学官民の連携と患者の参画に基づいて、免疫アレルギー疾患に対して「発症予防・重症化予防による QOL 改善」と「防ぎ得る死の根絶」のために、「疾患活動性や生活満足度の見える化」や「病態の「見える化」に基づく層別化医療及び予防的・先制的医療の実現」を通じて、ライフステージに応じて、安心して生活できる社会を構築」と示し、この実現に向けて取り組みを推進するものである。

研究10か年戦略関連論文 総説  
日本アレルギー学会誌 in press  
『アレルギー』2020.1月



## 研究班作成パンフレット

### 免疫アレルギー疾患研究 10 か年戦略 2030

～「見える化」による安心社会の醸成～



アレルギー疾患対策に関する研究基盤の構築 研究班  
労働行政推進調査事業費補助金・難治性疾患等政策研究事業・  
アレルギー疾患等政策研究事業(免疫アレルギー疾患政策研究分野)